

# めいきょう日和 7月号

2021年6月21日発行

## 2021年も半分が終わり。ここからが勝負！

### こびきのひとりごと

～テスト結果の見方について～

こんにちは。体の衰えを感じスポーツジムに通い始めたこびきです。高校時代は野球部で毎日ダンベルを持ち上げて体を鍛えていましたが、それも10年前の話。頭を使わなければ脳が衰えるように、体も動かす量が減れば簡単に衰えることを痛感しました。という近況報告はさておき。

MEIKYOでは中学生が期末テストに向けてテスト対策授業の真最中です。5月の下旬に中間テストがあり、1ヶ月ほどで次のテスト。みんな本当によく頑張っています。

来週には期末テストの結果が返ってきますが、テスト後の子どもたちの反応は様々です。実力をしっかり発揮することができて喜んでいる子もいれば、思うような結果が出ず、悔しがる子もいます。

学校の定期テストは結果よりも過程が大事だということに変わりないと思いますが、「結果の見方」は重要です。

結果の見方次第で、勉強へのモチベーションが大きく変わります。

ではどのようにテストの結果を捉えることが理想なのでしょうか。一番注意すべきポイントは「できているところに目を向けること」です。例えば、数学で80点、国語で40点を取ったときに、目を向ける順番は、

- ①数学の○がついている問題
- ②数学で特に力を入れて勉強した単元の問題
- ③数学の解けなかった問題
- ④国語の○がついている問題
- ⑤国語で特に力を入れて勉強した単元の問題
- ⑥国語の解けなかった問題

私はこの順番でテストの結果を見ています。私自身、学生の際は、テストが返ってくるとどうしても、正解している問題よりも間違っている問題、点数のいいテストよりも悪いテストに目が行きがちでした。

もちろん解けなかった問題を見て傾向を知ること、苦手を克服することを忘れてはいけませんが、それではモチベーションを維持することは難しいです。

それよりも、長い時間をかけて、必死に勉強をしてとりきった点数に目を向けることが最優先です。思うような結果が出なかったとしても、みんながテストに向け努力をしている姿を私は見えています。

テストと言えどもどうしてもネガティブなイメージを持ってしまいがちですが、本来テストは、子どもたちの成長を促すものであり、次へのステップにつなげるものです。小学生、中学生、高校生、この先も定期的にテストがやってきますが、できているところに目を向け、前向きに捉えるように意識を変えてみましょう。

### 7月の予定

12日(月) めいきょう日和8月号発行

16日(金) 1学期最終日

17日(土) 夏特訓!2021 ガイダンス

21日(水) 夏特訓!2021 開講

### 7月のお休み

4日(日) 11日(日)

18日(日)~20日(火)

24日(土) 25日(日)

※予定が変更になる場合もございます。



## 生徒投稿コーナー 「FREE!!!」

このコーナーでは、MEIKYO生の「自由」な発想を募集し、掲載するコーナーです。



7月のテーマ



「MEIKYOのキャラクターを考えよう！」

実際に存在するキャラクターを使うのは×  
正解はありません！自分が思うキャラクターをかいてみよう！



こびき一作「MEIKYOロボ」